

奥多摩 築瀬尾根 山行報告

- 【山 域】 奥多摩
【ル ー ト】 沢井駅～築瀬尾根～三室山～梅の公園～日向和田駅
【登山方法】 ハイキング
【日程・天気】 2019年4月28日（日）晴れ
【参加者】 CL 柘植(記録) SL 飯田 磯部 薄井
【行 程】 粟井駅 9:40→(多摩川を渡る)楓橋 9:50→ヤブ尾根終了 11:00→日の出山からの稜線 12:00→梅野木峠 12:20→金比羅神社 12:55→梅の公園 13:30→
13:45 日向和田直売所 14:15→日向和田駅 14:30



【内容】

予定では石尾根の三ノ木戸山に北面からつきあげる十二天尾根というのを登る予定であったが、中央線で人身事故があり、奥多摩駅到着が結構遅くなってしまうので、急遽方針変更。昨年末に計画してやはり交通トラブルで行きそびれた築瀬尾根に行くことにした。



多摩川にかかる楓橋



眼下にはラフティングを楽しむ人たち

多摩川にかかる楓橋から下を見るとゴムボートでラフティングを楽しむ人たちが見える。お互いに手を振って交歓するが、このツアーは駅でいうと御岳駅と二俣尾駅の間を下るようだ。川の反対側の櫛かんざし美術館前の道路に出る。築瀬尾根は昨年末に一応調べてはいるが、今日来るつもりではなかったのでウロ覚え。GPSを見ながら取付く場所を探していると、道路から上にあがる階段があるので、そこから取付いてみる。お墓の横を通り、沢沿いに細々と踏み跡が続く。だんだん上被りがひどくなってきたところで、この細道を見限って、沢の反対側にある尾根に取り付いてみる。かなり急だが、下生えは少なく、また林業関係者のものと思われる赤テープが一定間隔でついているので心強い。



築瀬尾根の下部枝尾根の急登



明るい一般道に出る

途中で1回休憩を入れるが、藪尾根とりつきから1時間で明るい一般道に出ることができた。するとなんと向こうから若者2人が自転車やってくる。挨拶がてら現在位置を確認すると日の出山からのメインの縦走路はまだ向こうらしい。ただここからは明るくてなだらかな一般道なので、心も軽やか。縦走路とのジャンクションはなんていうことのないところで、出合のすぐ下は林道で、梅野木峠まではこの味気ない林道を歩く。しかし結構たくさんのハイカーとすれ違い、さすがメインの縦走路だ。梅野木峠のベンチで休憩している間に多くのトレイルランナーと行き交う。奥多摩はトレイルランのメッカでもあるのだなと感心する。しばらく歩くと金比羅神社というところに着く。これまであまり展望のきかない尾根道で多少うんざりしていたが、ここは東京方面の眺めがよく、キラキラ光る大きな建造物は何？で大いに盛り上がった。



金比羅神社



ありし日の梅の公園の満開の梅（NETからの借用写真）

下山後は梅の公園に立ち寄ってみる。ここは以前は春の日帰り山行の帰りに観梅でよく立寄ったところだが、数年前に梅の木が病気にかかり、すべての木が伐採されてしまった。平成28年11月より再植栽を開始して、平成31年2月時点で約1,200本が植えられたそうた。ただ全体的にまだ木が小さく、「従前のような景色が楽しめるのはもう少し時間がかかりそう」ということでお楽しみはもう少しお預けの

ようだ。JA西のグリーンセンターという施設に立ち寄り、磯辺さんと柘植は今晚のおかず？の「うど」を仕入れる。築瀬尾根の下部でひょろ長く成長したワラビを少し見たが、探せば立派なうどもあるようだ。10分ほど車道を歩き、日向和田駅で約5時間のハイキングを終了した。十二天尾根は残念だったが、また近いうちに取り組みたいなと思う。築瀬尾根は今は末端までよい道もあるようだが、今回のようにマイナールートを組入れて登るのも山の楽しみかたの一つ、ぴりっとスパイスの効いたハイキングを楽しめますよ。

記録：柘植 秀樹